



鳥取県

臓器・アイバンクだより



2014.7
No.

13

発行人 公益財団法人 鳥取県臓器・アイバンク

〒683-8504 米子市西町36番地の1 (鳥取大学医学部内)

TEL / FAX (0859) 34-4809 ホームページ : <http://www.zouki-t.net>

～グリーンリボンは移植医療のシンボルです～



皆さん、こんにちは。鳥取県臓器・アイバンクです。

当財団では、移植医療のことを鳥取県民の皆様に理解していただくための活動をしています。

平成 25 年度は、中学校や高等学校で移植医療に関する講義を行い、臓器移植を題材とした「いのちの教育」の提案ができました。そして県民の皆様には、御家族とよく話し合い、ご自分の意思表示をすることの大切さを広報させていただきます。平成 25 年度の活動をご報告します。



第 6 回 グリーンリボン公開講座を開催しました

グリーンリボンが移植医療のシンボルマークであることから、鳥取県の公開講座を『グリーンリボン公開講座』と名付けて6回目。平成 25 年 10 月 6 日(日)倉吉未来中心で開催し、63 名が参加されました。そして、日本の移植事情や提供家族への関わりについて理解していただき、腎臓移植患者様の闘病の大変さをお聞きしました。次に、お兄様の臓器提供を決断されたお話に、深い感銘を受けました。最後は腎移植者によるオリジナル曲のコンサート。会場から『再腎移植の成功祈ります。頑張ってください』のコールがありコンサート会場が一体となりました。



第 6 回 公開講座の主な内容

テーマ 『移植医療を考える・講演とコンサート』 -つなぐ命の大切さを考える-

講演 1

『日本の移植事情と提供家族への関わり』

塚本 美保 氏
((公社)日本臓器移植ネットワーク西日本支部
チーフ移植コーディネーター)

要旨

2010 年に改正された臓器移植法の大きなポイントは、ご本人の臓器提供の意思が不明な場合にもご家族が承諾をすれば臓器提供が可能となったことです。

法改正後、日本の状況に変化が現れ、1 年間の臓器提供数は今までと大きく変わりませんが、脳死下の臓器提供が一気に増加し、心停止下での臓器提供は減少しています。従来では心停止下の臓器提供しかできなかった事例が、ご家族の承諾により脳死下の臓器提供が可能になり、移行してきている現状ではないかと思いません。

また、脳死下臓器提供により移植を受ける側の変化については、法が改正される 2010 年 7 月までの 11 年 5 ヶ月の中で、移植を受けた方は 374 名でしたが、法改正後のたった 3 年余りで 653

名が移植を受けることができました。しかし、日本には約 1 万 3 千人の移植希望登録者がおり、より多くの方の臓器移植に対する理解が今後必要になってくると思います。

臓器提供の際、私たち臓器移植コーディネーターは必ずご家族に、ご本人さんの臓器提供に対する気持ちを聞いていないかを尋ね、移植医療・移植に係る検査等の医療行為・法的脳死判定・情報公開等についてご説明します。

その際は予め、説明の中止が可能である事や、ご家族の総意で代表の方にサインをいただく事・一旦承諾した後も手術室に入るまでは承諾の撤回が可能であることもお伝えしています。

そして、提供後にもご家族の希望に添って、電話や手紙・メール、またご自宅を訪問して移植者の手術後の経過を伝えたり、移植者からのサンクスレター(感謝の手紙)をお届けしたりしています。他に、ドナーファミリーの集い、ドナーファミリー専用ダイヤル・専用メールを設けています。

移植を受けた方が、元気になり健康を取り戻すという事はとても喜ばしいことですが、臓器提供されたご家族が、提供しなければ良かったと思うようなことがあってはならないと思います。私たちはご家族が提供したことを少しでも肯定的に捉えることができるように対応し、支援しております。

『腎移植手術を受けた体験談』

松本 優志 氏 (生体移植を受けられた方)



要旨 透析治療を受けていた時に、「透析したら、あとは普通に生活できるんでしょう？」とよく言われました。移植医療がなぜ必要なのか、どうして透析治療のままではいけないのかについてお話しします。

透析中以外は普通に生活できる…という認識ですが、これは大きな誤りです。透析の機械は、腎臓の機能のほんの一部しか補ってくれません。よって、常に大量の尿毒素が身体の中にある、尿毒症という状態です。そのため、色んな症状が襲ってきます。精神の不安、睡眠障害、とてつもない身体のかゆみ、足の灼熱感。他にもありますが、大変辛いものです。(※透析治療中の体調には個人差があります。)確かに透析治療中は、水分や食事の制限があり、週3回の透析は時間を取られますが、先ほどの症状を我慢することに比べたら大した我慢ではありません。

この我慢から解放してくれるのが、腎移植です。尿毒症から離脱できるのは移植の大きな利点です。

さて、私が透析導入したのは、25年前、1988年です。腎移植を希望しましたが、なかなか実現しませんでした。妻と母がドナー候補でしたが、妻は血液型が異なり、また、母は同じ血液型ですが、あいにくC型肝炎を発症しており、ドナーになるところか母自身の生命の危険もある状態でした。私に兄弟はいませんし、父は既に他界していましたので、生体移植は不可能だと諦めていました。

しかし、透析して4年が経った1992年に、母に動きがありました。C型肝炎の患者に対するインターフェロン治療が健康保険の適用となり、治療することにしました。早速入院し、時間もエネルギーも掛かる治療でしたが、数年後、とうとうC型肝炎は完治しました。

母は自分の命を守ることに成功した上に、私のドナーになれる

ところまで回復し、強い光が射しました。そして1998年5月、ついに移植手術が実施され、私は健康を取り戻しました。透析導入から10年が経過していました。あれだけ苦しめられた尿毒症の症状がごとく無くなりました。

移植による生活の質の向上は、「生まれ変わった」という言葉がピッタリです。移植できて良かったと、心の底から思っています。私は健康を取り戻したのを機に、音楽を習い始め、オリジナル曲をつくり、年に数回のコンサートを行うようになりました。腎臓をくれた母は術後も健康で、83才となった今もとても元気で自活しています。

私の体験談の幸せな部分は、ここまでです。残念ながら15年間働き続けてくれた大事な大事な移植腎は慢性拒絶で少しずつ機能が低下し、現在、能力を失いました。腎不全の末期となり、6月から透析を再導入しています。そして、このまま透析で生きて行くという道もありますが、2回目の移植という選択肢もあります。

2回目の移植は、妻がドナーです。現在の医療技術では、血液型ABOの不一致は問題になりません。しかし、2回目の移植は1回目よりハードルが高いです。母の腎臓が体内にあるために、妻の腎臓を異物とみなし攻撃する抗体が、私の身体に出来ています。この抗体を除去しないと、移植しても1ヶ月以内に機能停止となるはずですので、2回目の移植に挑戦しようと、抗体の除去を4ヶ月前に行いましたが、失敗しました。

このままでは移植は出来ません。ですが最後の最後、一つの望みがあります。以前行った血漿交換に加えて、ガンマグロブリンの大量投与をする処置です。これが成功すれば、妻の腎臓を私に迎え入れることができます。そして2回目の移植によって、再度、生まれ変わる訳です。この計画は、来月11月に実行します。

今度この壇上に立つ時には2回の腎移植を受けた男として、皆さんに報告できることを、強く望んでいます。



『臓器提供した家族の想い〜兄貴へ〜』

滝口 恒明 氏 (お兄様の脳死下臓器提供をされた方)



要旨 今から数年前のある朝、突然、兄貴が倒れ意識もない状態だと電話がありました。病院に駆けつけると、お医者さんから「現在、脳死に限りなく近い状態です。」と言われました。はじめは意味がわからず、帰ってくる希望はないのかと思っていたのですが、CT写真をしながら父が言った「もう帰ってこんわ。」の言葉で、僕も

はっきり死ぬんだと理解しました。もう何も考えられない状態で、絶望感というか、虚脱感というか、ため息しか出ない、涙も出ない状態でした。

その時、「ドナーカードは持っとらんかったのか？ドナーカードがあるはずなんじゃけど」と彼の娘が言いました。「家族会議で、もし何かあったら臓器提供をしたいという話をしたことがあるんじゃない。その時にドナーカードにサインしたのを私は見るとる」と言い、探してみると、財布の中に実際にありました。それまで全然涙が出なかったのですけれど、それを見た瞬間、ドカッと涙が出てきました。その涙は、悲しみではなく、こいつ凄いわ、たいしたものじゃのうという、鳥肌が立つほどの尊敬の感情によるものでした。

子どもたちに確認すると、自分たちもそう思っているということで、「臓器を提供したい」と申し出ました。移植コーディネーターの方とお医者さんと何度も話し合いました。その話合いの中で、この臓器の提供という行為は正しいことなのか、正しくないことなのか、素晴らしいことなのか、素晴らしいことなのか、自己満足なのか、本当に世の中で求められている行為なのか、そういったことを私は考えました。

だから、ドクターの立場から後押しが欲しかったのです。臓器提供は素晴らしい行為です、求めている方いっぱいいるのです。是非提供して下さいってというような後押しが欲しかったです。ただ、

色んな立場はあると思います。そういった後押しの言葉は一切なく、皆さんのご意思で決定して下さいということでした。

僕らは社会的なことばかり気にするのですが、兄には中学生と小学生の子もがいて、質問はありますかと聞かれたら、「目はどうなるのですか？どこからどこまで切って、凹んだおなかはどうなるのですか？」とお父さんの身体のことばかりを気にしていました。僕らとは違う。ああ、凄い価値観も違うのだろうなと思いました。そういう状況でしたが、臓器提供を決断しました。立派な決断だったと思います。子どもたちも。

僕たちにできることは何か？彼の子どもたちにしてやれることは、兄貴の人生がどんな人生だったのかを教えてあげる事。それは葬式にどれだけ人間が来てくれるか、ただそれくらいだろうと思っていたところ、近所迷惑なくらい沢山の方に来ていただきました。彼の子どもたちには「ああ、お父さんってこういう人生だったんだな」と感じてもらったのじゃないかなと思います。

だから我々が臓器提供して何を得たのかということ、自分たちは誇れる行為をしたのだという、ものすごく大きな誇りっていうものを得ることができました。

人の死っていうのは乗り越えるには非常に時間がかかってしまう。もし、臓器提供したという誇りがなければ、子どもたちも、そして母親も、もっともっと時間がかかったらろうし、その時間の中でもっともっと失ったものも多かったらろうと、今も思っております。

私たちが行った臓器の提供ということは、私たちにあって非常に価値のあることでした。これだけは自信をもって言えます。皆さんがどう考えてどう決断されるのかはわかりませんが、こういう人間もいたんだということだけ理解していただければ幸いです。



腎移植者(松本 優志氏)によるコンサート

腎移植後から始めたギターやハーモニカ。ギターの講師と共に、生まれ変わった幸せを土台にした、心温まるオリジナル曲『良いんじゃない?』他全5曲を披露。歌の合間には、松本氏の人生観がにじみ出る、辛い話も、笑いに変えながら会場を盛り上げてくださいました。会場から、2回目の腎移植術が成功するよう、励ましの声があり『頑張っ!』のコールが響いた。

振り返りアンケート結果

63名参加の内 37名より回答あり。
回答率 59%

回答者の性別 男性 12人 (34%) 女性 25人 (68%)

回答者の年代 20代以下 (5%) 20代 (3%) 30代 (14%)
40代 (11%) 50代 (43%) 60代 (19%)
70代以上 (5%)

1 参加者所属

一般 (43%) 学生 (5%) 医療関係者 (22%) 腎友会 (5%)
その他 (22%) 無回答 (3%)

2 参加の理由 (複数回答可)

●日本の移植事情...28人 ●腎移植者体験談...26人
●提供者家族の話...23人 ●コンサート...8人

3 今後どのような講演が聞きたいか? (複数回答可)

移植を受けた方の話...17人 臓器提供された家族の話...17人
移植を待っている方の話...20人 医療関係者...8人

4 その他感想

「提供側、受ける側両方の思いを直接聞け、多くを考えさせられた」「改めて健康ってありがたいと思う」「講演を聞いて臓器提供の大切さを実感した。」「自分が移植を希望しても、残される家族に余計な世話を掛けると思っていたが誇りに思っ、死別からの立ち直りになったと聞いて少し考えが変わりました。」「楽しかったです。松本さんの2回目の腎移植が成功する事祈っています。」「人の生命の大切さ、生きていくことの意味など考えさせられました。」など多くの意見をいただきました。

入場無料

26年度

第7回グリーンリボン公開講座のご案内

■日時 平成26年10月19日(日)
13時30分から16時30分(13時開場)

■場所 米子コンベンションセンター
小ホール (米子市末広町)

テーマ 『移植医療を考える講演会とコーラス
～つなぐ命の大切さを考える～』

講演1 『移植医療の今!そしてこれから!』
福嶋 教偉氏
(大阪大学 重症臓器不全治療学 教授)

講演2 『臓器提供をした家族の想い～三男の残した意志～』
来海 千壽子氏

講演3 『2度の移植で腎臓4つ。絶賛!幸せ中!』
松本 優志氏

講演4 『角膜のご提供を受け、感謝!の人生』
浦木 誠一氏

●鳥取大学医学部混声合唱団『スプラウト』によるコーラス

多くの方の来場をお待ちしています。

鳥取県院内移植コーディネーター会議を2回開催

鳥取県院内移植コーディネーターは、移植医療の推進のため、自病院内の移植医療についての窓口的業務、院内体制整備、普及啓発の役割を担っていただく方です。院内移植コーディネーター設置病院は7病院となり、院内移植コーディネーターは29名となりました。会議では、各病院の取り組み発表や研修会を行い、院内移植コーディネーターとしてスキルアップの場となっています。

第7回鳥取県院内移植コーディネーター会議 (平成25年7月5日開催。於：鳥取県立中央病院)

- 内容**
- ①講演 演：『鳥根県立中央病院でのオプション提示の現状』
松原 康博氏 (鳥根県立中央病院 救命救急診療部長)
 - ②事例発表1：『鳥取県立厚生病院の事例 (ご家族から突然、臓器提供を申し出られて)』
紙谷 秀規氏 (鳥取県立厚生病院 副院長)
 - ③事例発表2：『鳥取県立中央病院でのオプション提示事例について』
岡田 稔氏 (鳥取県立中央病院 医療局救急科部長)

●質疑応答で、オプション提示は、誰が行うのが良いのか? 終末期の方全員に行うことができるのか? など活発な意見交換が行われた。それぞれの立場での現状や、ツールを使う方法などにも言及された。



第8回鳥取県院内移植コーディネーター会議 (平成26年1月24日開催。於：鳥取県立厚生病院)

- 内容**
- ①発表：各病院の『臓器提供に関する院内体制整備と1年間の活動報告』
 - ②報告：『鳥取県の一年間のドナー情報』永栄 幸子 (鳥取県臓器移植コーディネーター)
 - ③講演：『愛媛県における院内コーディネーターの現状』篠原 嘉一 (愛媛県臓器移植コーディネーター)
 - ④意見交換会：目的、『各病院の取り組みを共有し、今後の院内移植コーディネーター活動に繋げる』
テーマ『院内移植コーディネーターの役割として今後どのようなことが必要か?』
A グループ (病院の管理的立場の院内コーディネーター同士)
B グループ (臨床現場・ICU, HCU, OP室等に所属の院内コーディネーター同士)
C グループ (事務部門、検査部門に所属の院内コーディネーター同士)

●初めて、グループに分かれて、膝を突き合わせ、各病院の現状や今後の取り組みについて、院内コーディネーターとしてのどの様にしていくことが必要かと、時間の限り話が弾んでいた。最後に各グループで話された内容の発表をして閉会となった。



第84回移植者セミナーを開催

平成25年6月9日(土)13時~16時山陰地区で初めて、日本移植者協議会主催のセミナーが開催。準備段階から、当日の受付、司会などに協力しました。参加者は145名。講演・移植体験談・移植患者と移植医のジョイントコンサートと盛り沢山の内容で、多くの方に移植医療について理解を深めていただきました。



『移植医療～いのちの贈りもの作品展～』を開催

平成25年6月10日から6日間を倉吉未来中心。6月19日から9日間をイオン日吉津ショッピングセンター。7月9日より11日間をとりぎん文化会館。3会場(合計26日間)で展示しました。

今年は、国際漫画シンポジウム展の作品10点。移植を受けた子ども達の作品25点。移植者スポーツ大会の写真8点。計43点を展示しました。国際漫画シンポジウム展の作品はトルコ、エジプト、日本の漫画家たちが臓器移植、臓器提供をテーマに倫理観と人間愛に基づいて描いた作品です。今年初めて企画しましたが、今までと違った形で臓器移植を考えて頂くきっかけとなりました。

イオン日吉津店では、6月23日(日)に啓発グッズの配布、臓器移植に関するミニ講座や相談会も行いました。

毎年、3会場で開催して6年目。偶然に会場にきて見て下さる方が多く、移植手術で命を繋いだ子どもたちの生きる喜びに溢れた作品に感動されていました。

作品展来場者の感想

- 一生懸命に、生きておられることに感動しました。命の大切さを改めて感じました。(40代女性)
- 癌になり化学治療中です。この絵の子どもたちに元気をもらいました。有難う。(60代女性)
- 移植してもらった事に対するの喜びや感謝の気持ちが、絵に表れていて心が和みました。(60代女性)
- 自分に何が出来るか考えてみます。まずは免許証のウラからですね。(40代男性)
- 凄い！気持ちが伝わってくる良い作品でした。しかし『脳死は人の死ではない』という基本は崩せません(60代女性)



10月には臓器移植普及推進街頭キャンペーンを開催しました



平成9年10月の『臓器移植法』の施行後、毎年10月は臓器移植普及推進月間です。今回で16回目を迎えた街頭キャンペーン、沢山の方の協力を得ました。また、合計800人(東、西部各300人。中部200人)の方に臓器提供意思表示カード(健康保険証・運転免許証含)の所持、記入に関するアンケート回答もいただきました。この調査も今年で16回目となり、当財団の貴重なデータとなっています。

日時

- 平成25年10月13日(日) イオン日吉津店ショッピングセンター
- 平成25年10月20日(日) イオン鳥取北店ショッピングセンター
- 平成25年10月27日(日) 倉吉未来中心

関係団体、ボランティア等総勢105名で行いました。沢山の方のご参加ありがとうございました。ご協力いただいた皆様は以下のとおりです。(順不同、敬称略)

西部地区ーイオン日吉津店ショッピングセンター(ボランティア36名)

境港ライオンズクラブ、米子城山ライオンズクラブ、米子中央ライオンズクラブ、鳥取大学医学部附属病院、山陰労災病院、米子医療センター、米子北高等学校、米子看護専門学校、鳥取県立倉吉総合看護専門学校、米子市健康対策課、鳥取県看護協会(鳥大病院)、鳥取県薬剤師会、西部総合事務所福祉保健局、個人、鳥取県腎友会、県庁職員(シンボルキャラクター トッキーノも)

中部地区ー倉吉未来中心(ボランティア31名)

倉吉グレートライオンズクラブ、谷口病院、谷口病院附属診療所東伯サテライト、鳥取県立厚生病院、鳥取県立倉吉総合看護専門学校、中部総合事務所福祉保健局、鳥取県中部薬剤師会、鳥取県看護協会(北岡病院)、個人、鳥取県腎友会、県庁職員(マスコットキャラクター げんきトリピーも)

東部地区ーイオン鳥取北店ショッピングセンター(ボランティア38名)

鳥取砂丘ライオンズクラブ、鳥取いなばライオンズクラブ、鳥取千代ライオンズクラブ、鳥取久松ライオンズクラブ、鳥取北ロータリークラブ、鳥取信用金庫、鳥取県立中央病院、鳥取赤十字病院、吉野・三宅ステーションクリニック、さとに田園クリニック、鳥取県立看護専門学校、鳥取県立倉吉総合看護専門学校、鳥取県看護協会(鳥取赤十字病院)、東部総合事務所福祉保健局、鳥取県腎友会、県庁職員(シンボルキャラクター トッキーノも)



地域の皆様にお世話になり、普及啓発活動を行いました

今年も鳥取県の地域の方々のご協力の下、様々な啓発活動を行うことができました。ありがとうございました。

臓器提供意思表示カードの配布

鳥取県看護協会主催看護フェア・鳥大病院・米子医療センター看護の日イベント・美保基地航空祭・米子市ふれあい健康フェスティバル・鳥取県看護協会総会・薬と健康の週間イベント・県民福祉大会・中海野球大会・県民スポレク祭軟式野球大会、鳥大医学部錦祭・境みなと寄席など。

研修会(出前講座)

国立米子工業高等専門学校・鳥取環境大学新入生フレッシュセミナー・鳥取短期大学・車尾公民館(ふれあい学級・くずも)・永江公民館(ながえ青雲大学人権講座)・(株)フィデア総会・中山中学校・桜ヶ丘中学校・日野高等学校・境高等学校・山陰労災病院・藤井記念病院・皆生温泉病院・米子東病院・境港ライオンズクラブ・鳥取県警察学校検視実務専科、各医療系学校など計33回実施

今年度は鳥取県教育委員会人権教育課の協力により、中学、高校での講義依頼がありました。

広 報

- ♥日ノ丸バス5台にステッカー広告1年間掲載
- ♥BSSテレビ・ラジオで臓器移植普及推進月間中にCM放送
- ♥朝日新聞に臓器移植普及推進月間(10月)PR広告を掲載
- ♥日本海新聞に目の愛護デー(10月10日)PR広告を掲載
- ♥読売新聞にアイバンク登録に関するPR広告を2回掲載
- ♥JR時刻表へ改正臓器移植法と当財団のPRを掲載
- ♥移植医療～いのちの贈りもの作品展～が、BSSテレビ、中海テレビで放映。
- DARAZUFM ラジオでPR、日本海新聞に掲載
- ♥山陰放送おしゃべり本舗で臓器移植普及推進月間・第6回グリーンリボン公開講座をPR



鳥取県の臓器移植をとりまく環境

①鳥取県で臓器移植を待っている人は？→「42人(腎臓)(平成26年3月末現在)です」

全国では約13,000人の方が臓器移植を希望しています。ちなみに、鳥取県の人工透析患者数は毎年増え続け、平成2年は562人でしたが、平成25年9月には1497人で、初めて昨年より39人の減となりました。しかし全国的には増え続けていて、糖尿病による腎不全が増加しています。病気になる可能性は誰にでもあります。予防が一番です。

②現在までに鳥取県で献腎移植を受けた人は？→「8人(平成26年3月末現在)です」

亡くなった方からのご提供により、今までに8人の方が腎臓の移植を受けられました。

③臓器移植法制定後より鳥取県で臓器提供をした人は？→「3人(平成26年3月末現在)です」

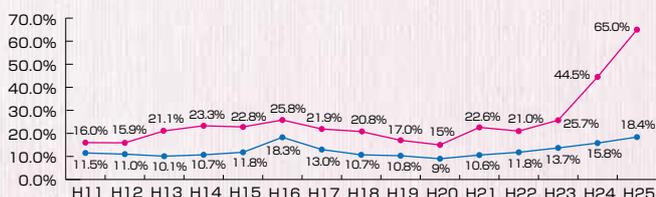
平成11年と平成15年に心停止後の臓器提供(腎臓)がありました。平成23年に脳死下臓器提供(肺・脾臓・腎・眼球)がありました。ご提供者様とご家族に敬意と感謝の意を表し、ご提供者様のご冥福を心からお祈り申し上げます。

④H25年度のドナー情報は？→「4件あり、うち1件は角膜のご提供をしていただきました。3件はご家族が辞退されたり、医学的理由で提供には至りませんでした。」

⑤鳥取県民の臓器提供意思表示カード(健康保険証・運転免許証含む)の所持率は？→「65%の方が持っています(平成25年10月調査)」

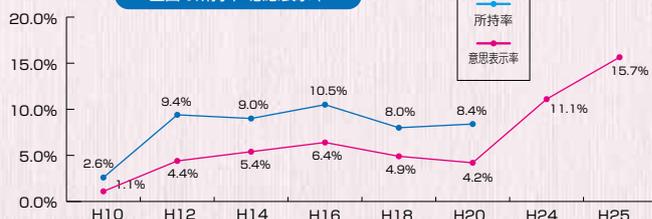
平成10年から調査を16年間続けています。平成20年度の全国の所持率が8.4%で、全国よりもずっと鳥取県は高い結果(調査方法は異なりますが)となっています。平成25年の意思表示率は18.4%(全国の日本臓器移植NW調べでは15.7%)でした。意思表示欄付の健康保険証・運転免許証が定着して所持率が高くなってきています。カードには「臓器提供したい」「臓器提供したくない」どちらの意味も記入することができ、その意思はご本人の意思として尊重されます。臓器移植法が改正され、特に「臓器提供したくない」の書面による意思表示は重要です。県民の皆様にご自分の意思表示をしていただくために、正しい情報・知識をお伝えしていく活動を続けています。また、御自分の意思をご家族と一緒に話し合っておく事が大切です。

鳥取県の所持率・意思表示率



鳥取県臓器・アイバンク調べ

全国の所持率・意思表示率



臓器移植に関する



Q 臓器移植とは？

- A 臓器移植とは、重い病気や事故などにより臓器の機能が低下し、移植でしか治療できない方と死後に臓器を提供してもいいという方を結ぶ医療です。
第三者の善意による臓器の提供がなければ成り立たない医療です。

Q 臓器提供するために、事前に必要な手続きはありますか？

- A 事前の手続きは必要ありませんが、ご自身の提供したいという気持ちを意思表示カード等で表示し、その気持ちをご家族に伝えておくことが大切です。
平成22年7月17日に施行された改正臓器移植法により、本人の意思が不明な場合でもご家族の承諾があれば臓器提供できるようになりましたが、もしもの時に家族が判断に迷わないためにも、臓器提供についての意思を表示しておきましょう。

Q 意思表示はどのようにすればいいですか？

- A 意思表示の方法は①インターネットで意思登録サイトに登録する②健康保険証や運転免許証の裏面の意思表示欄に記入する③意思表示カードに記入する方法などがあります。
また、健康保険証や運転免許証に意思表示欄が設置されていない場合は、シールに記入して貼って表示することもできますので、各健康保険組合や運転免許の更新ができる窓口にご請求ください。

Q 臓器提供にかかる費用についての負担はありませんか？

- A 臓器提供者(ドナー)の側には臓器提供にかかる費用は一切かかりません。
また、善意による提供なので葬儀の費用や謝礼が支払われることもありません。

Q 遺体は、どんな状態で戻ってくるのでしょうか？

- A 摘出手術の傷は残りますが、通常の手術傷と同様に、からだは礼意をもって丁寧に扱われ、傷口は縫合して、清潔なガーゼでおおわれます。
その後、お身体をきれいにし、すぐにご遺体をご家族にお返しいたします。

Q 「3. 臓器を提供しません」という項目があるのはなぜですか？

- A 臓器提供に関しては、提供したい意思も提供したくない意思も尊重されます。昔の「ドナーカード」と違い、「意思表示カード」にはどの意思も表示できます。
臓器を提供したくないという意思も尊重され、その意思は残された家族にとって貴重な情報になります。

Q 絶対に臓器を提供したくないのですが。

- A 臓器を提供しない意思是、年齢にかかわらず、口頭でも有効ですが、その気持ちがきちんと尊重されるためにも、臓器移植ネットワークの意思登録サイトに登録しておきましょう。

賛助会へのご協力ありがとうございました。

個人・団体会員で合計 **934,000 円** の賛助会費をいただきました。

皆様からいただいた賛助会費は普及啓発、事務局運営に必要な経費として支出しました。

●団体会員(順不同)

合計 **29 団体 580,000 円**

鳥取いなばライオンズクラブ
 米子城山ライオンズクラブ
 境港ライオンズクラブ
 境港美保ライオンズクラブ
 米子グレートサウスライオンズクラブ
 鳥取中央ライオンズクラブ
 鳥取久松ライオンズクラブ
 公益社団法人鳥取県看護協会
 一般社団法人鳥取県薬剤師会
 公益社団法人鳥取県医師会
 一般社団法人鳥取県歯科医師会

鳥取県腎友会
 鳥取信用金庫
 特定医療法人財団同愛会 博愛病院
 米子医療センター
 鳥取県立厚生病院
 医療法人社団魚谷眼科医院
 医療法人清生会谷口病院
 日野病院組合日野病院
 医療法人上福原内科クリニック
 医療法人社団ミオ・ファティリティ・クリニック
 医用人十字会 野島病院

医療法人真誠会セントラルクリニック
 日本赤十字社 鳥取赤十字病院
 鳥取県済生会境港総合病院
 日南町国民健康保険日南病院
 医療法人秋穂整形外科
 医療法人さとに田園クリニック
 医療法人社団三樹会吉野・三宅ステーションクリニック

●個人会員

合計 **134 名、354,000 円**

県職員 98名 医師会 27名 一般 6名 バンク理事・監事・評議員 3名

●ご寄付

合計 **207,100 円**

鳥取中央ライオンズクラブ 11,426円 境港ライオンズクラブ 155,674円
 米子ライオンズクラブ 20,000円 浦木誠一 10,000円 坂口由美 10,000円

※うち40,000円はアイバンク活動

平成25年度 決算報告

平成25年度も鳥取県からの補助金、皆様からいただいた賛助会費、県債と国債の運用益、角膜等のあっせん手数料等により活動しましたので、ご報告します。
 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

経常収益	(単位:円)
科目	収入額
基本財産運用益	836,781
受取賛助会費	934,000
角膜等あっせん受取手数料	400,000
鳥取県受取補助金	11,517,285
(公社)日本臓器移植ネットワーク受取補助金	282,855
(公財)日本アイバンク協会受取補助金	180
受取寄附金	207,100
受取利息	1,039
合計	14,179,240

経常費用	(単位:円)
科目	収入額
事業費	11,191,165
臓器バンク	9,757,464
アイバンク	1,433,701
管理費	2,739,518
合計	13,930,683
当期一般正味財産増減額	248,557

臓器提供の意思表示にご協力ください。

自分の意思を 家族に伝える



あなたなら、
どうしますか？

臓器移植以外に治療する方法のない病気は誰がいつなっても不思議ではありません。

臓器移植の4つの権利

どの気持ちも
等しく尊重されます。



臓器提供の意思表示は
いずれかの方法でできます



お知らせ

臓器移植の出前研修お引き受けします

職場や地域での会等にお伺いし、無料で出前研修を行います。(どんな機会でも、少しの時間でも結構です。人権研修として行うことも可能です。) 移植医療を通じて「いのちの大切さ」を皆様と話し合っていきたいと思っています。鳥取県内であればどちらでも伺いますので希望される場合は当財団にご連絡下さい。

当財団ではアイバンク事業も行っています

公益財団法人鳥取県臓器・アイバンクは厚生労働大臣より眼球的あっせん業許可を受け、平成24年4月1日より眼球的あっせん業を事業の一つとしております。つきましては、眼球的あっせん(献眼希望や献眼登録など)に関するお問い合わせも公益財団法人鳥取県臓器・アイバンク(34-4809)にお願いします。



腎臓移植医療についての相談・質問をお引き受けしております。

鳥取県臓器・アイバンクでは、移植医療や腎臓移植についての相談やご質問にお答えいたします。更に、専門医への相談も調整いたします。

専門医師(腎移植認定医)

濱副 隆一：米子医療センター病院長(外科医)
杉谷 篤：米子医療センター副病院長(外科医)
高橋 千寛：米子医療センター診療部長(泌尿器科医)

連絡先：TEL 0859-34-4809
(相談無料：受付は平日8:30~17:15)

おねがい

賛助会員・寄附金へ協力をお願いします

当財団の運営は、基本財産の運用益と皆様からの賛助会費やご寄付による支援により行っております。当財団の活動に皆様の温かいご支援をお願いいたします。当財団の賛助会員にご加入いただいた場合、特定公益増進法人への寄付金として、金額により税制上の優遇措置が受けられます。(詳しくは最寄りの税務署へお問合せ下さい。)

賛助会員会費	団体会費	1 □ 20,000 円
	個人会費	1 □ 2,000 円
振り込み先	郵便振替 01350-5-92999	
口座名義	公益財団法人 鳥取県臓器・アイバンク	

当財団にご連絡いただければ、払込手数料が無料になる払込用紙を送付いたします。また免税申請をされる場合には、当財団発行の領収書と税額控除に係る証明書が必要となりますので、お申し出ください。

おわりに

公益財団法人となり1年目、新たな組織として、多くの活動ができました。今年度は、初めて中学校・高校で、『いのちの授業』『人権授業』として4校で講義をさせていただきました。教育の中で、移植医療を通していのちの大切さや自己決定権など学んで成長してほしいと思いました。県内各地での研修会やイベント活動はホームページに掲載しております。県民の皆様には、今後とも、臓器移植法について、正しく理解していただき、ご自分の意思をご家族と共有していただき、臓器提供意思表示カード・運転免許証・健康保険証・インターネットなどで意思表示をしていただきたいと思います。

公益財団法人 鳥取県臓器・アイバンク
〒683-8504 米子市西町36番地の1(鳥取大学医学部内)

TEL (0859) 34-4809
ホームページ：http://www.zouki-t.net

臓器・アイ 検索